



これならできるかも！ 食生活や食習慣の指導がもっと楽しくなる本！

デンタルハイジーン BOOKS
対話形式でわかる！歯科医院で伝えたい栄養のこと
手塚文栄 編著

A5 判／136 頁／定価 3,960 円（本体 3,600 円＋税 10%）／医歯薬出版（2024 年 5 月）

2018 年に口腔機能発達不全症，口腔機能低下症が保険導入され，多くの歯科医院で口腔機能への取り組みが行われています。おもな取り組みとして，食べる機能の維持・回復のためにさまざまな口腔筋機能訓練を指導していると思いますが，食べる機能の維持・回復の本来の目的である栄養に関しては，私自身を含めてほとんどが栄養士任せになっているのが現状ではないでしょうか。

口腔の専門家である歯科医師や歯科衛生士も，栄養に関する知識を身につける必要があります。しかし，栄養について専門的に勉強してきたわけではない歯科医療従事者にとってはハードルが高く，どこから手をつければよいのかわかりません。私は保育士や介護支援専門員の資格をもっており，歯科医院に来院される患者さんだけではなく，保育園や介護施設などの職員からも，小児や高齢者の栄養について助言を求められることが多くあります。しかし，私は栄養について深い知識があるわけではなかったため，そのような方に対して栄養のアドバイスをすることに苦戦していました。そんなとき，編者の手塚先生（管理栄養士）が勤務されている茨城県土浦市・たかぎ歯科の高木伸子先生から，本書を送っていただきました。

本書の特徴は，口腔機能の低下や齲蝕などの歯科疾患に関連させながら，栄養について丁寧に解説しているところです。歯科医院で栄養の知識を伝えることの重要性や適切な食事アドバイスについて，専門用語を避けたわかりやすい言葉で説明されています。栄養について患者さんにどのように話すべきかを具体例とともに示してあるので，栄養の知識がほとんどなかった私でも，栄養や食事について幅広い知識を習得することができました。また，図やグラフが多く使われているので，情報を視覚的に理解することも特徴です。本書は対話形式で進行していますので，一方的な情報の提供でなく，栄養に関する身近な疑問や関心事をより主体的に学ぶことができます。本書で紹介されている実践的なアプローチを用いることで，患者さんとのコミュニケーションが強化され，食生活指導の効果が高まり，よりの確かなアドバイスをすることができるようになったと思います。

栄養は人間にとって不可欠なものです。栄養は口から摂取するので，口腔の専門家である歯科医療従事者にとっては，栄養の知識はなくてはならないものです。本書はこれから栄養について学ぼうとされている歯科医師や歯科衛生士にとって，最高の 1 冊になるでしょう。